

創刊ごあいさつ



高井法博会計事務所

所長 高井法博

開業後9年、自宅で女房と共に始めた高井法博会計事務所も、大変多くの皆様方の御支援により、今では、お客様総数280軒、職員数も派遣職員を含め総員23人の所帯となるまでに発展させて頂きました。厚く感謝申し上げます。

さて今回、長年考えていました高井法博会計事務所とお客様をつなぐ機関誌「一期一会」を発刊することにいたしました。

規模の拡大と共に取り扱ひ業務も広範囲になり、その全部の内容について正確にお伝えできないものどかしさがあり、又かつてのような、お客様と所員一人一人との家族的なおつき合いも、人数が増えるに伴い疎遠になってきています。そこで、これを解消する一助にと考えています。

又、我々の考え方や、税法の改廃等の情報の伝達、更には、当事務所のお客様同士が勉強と親睦を通じて事業の交流を図り、共に助け合い、共に発展していこうとの目的で、六年前に結成された「TACT経営研究会」の会員の頁も設け、お客様の新商品や事業内容の紹介、経営に対する意見の発表も予定しています。これは、当事務所が、お客様の「情報センター」として「ビジネスサポート集団」となれたらとの願いの一端でございます。

最近「日経ベンチャー」で松下幸之助氏へのインタビュー記事を読みました。70年の事業体験で最も幸せだった事、最も悔いの残る事は何ですか」との問いに、松下氏はこう答えておられます。

「そうですね。振り返ってみると、あれは失敗やっとな、考え方が足りなかったなというような事が非常に沢山ありました。いうならば毎日が失敗の連続であったと

いうことにもなると思うのですが、同時にその一方で、これは良かった、あれもうまくいったという事も色々あって、毎日が成功の連続であったともいえる。まあ、失敗しつつ成功し、成功しつつ失敗してきたというのがこれまでの自分の人生であったようにも思う。けれどもそんな歩みを顧みる時、『兎に角、懸命にやってきたな』『我ながら良くやれたな』と、自分で自分の頭をなでてやりたいような気持ちになることが出来る。その事が何よりもありがたい事、幸せな事であるような気がします。」

誠に素晴らしい言葉だと思えます。我々も、日夜必死に経営と取り組んでおります。どんな時にもプラス思考で、人間として恥じない正しい道を歩きながら、こんな言葉が吐ける人生を送りたいと思っております。

この機関誌『一期一会』が、文字通り「人」と「人」との出会いの中からお互いに触発し、助け合い、真の血縁的集団として共に発展していく一助になればと念じております。



光と水とみどりの里

川魚・山菜
しし鍋
いろいろ料理

料理とお泊り

杉島荘

☎ <058157> 2532

※研修・合宿にもご利用いただけます。



- 溪流釣り ●水族館
- ルアー、フライキャスティング

魚の里杉島

喫茶とお食事

すぎしま

武蔵郡板取村杉島 ☎ <058157> 2834